

【尾倉中・皿倉小】小中合同研修会(7/26)

7月26日(火)尾倉中学校で、皿倉小学校との小中合同研修会を行いました。コロナ過でなかなか一堂に会しての会議はできませんでしたが、北九州市教育委員会 学校教育課 松村指導主事をお迎えし、今回ようやく開催することができました。

初めに、皿倉小学校、尾倉中学校の両校長、松村指導主事が挨拶を行いました。次に、本校の小中一貫・連携教育コーディネーター梶田先生が小中一貫・連携教育の構想図、校務分掌の説明を行いました。尾倉中学校区のめざす児童生徒像は、「夢や目標をもって、地域を愛し、地域社会に貢献できる児童生徒」です。また、両校の一貫・連携教育の目標は、「確かな学力と豊かな心で、たくましく生きる児童生徒を育む学校」としました。

- 参考:尾倉中学校教育目標 豊かな心をもち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～
- 参考:皿倉小学校教育目標 わくわく いきいき 笑顔輝く皿倉小～思いやりの心をもち、自ら学び、たくましく生きる「皿倉っ子」の育成～

そのための基本方針として、① ひとりひとりに「生きる力」を育む指導をする ② 小学校から中学校への円滑な移行と一貫した指導体制の確立を目指す ③ 尾倉中学校区の特色を生かした一貫教育の推進を図る の3点を挙げています。

全体説明の後、教科部会に分かれました。ここでは、「教科ごとの9年間を見通したカリキュラム」を協議しました。それぞれの教科内で課題を出し合い、その課題を解決するための共通の手だてを探ることを目的としています。短い時間でしたので、今後も協議を続けていく予定です。教科部会の後は、北九州市立八幡母子寮「わかさ八幡」の草場園長先生より講話をしていただきました。子どもたち一人一人はいろいろな生活背景をもっていることを学びました。若い先生も多く、改めて子どもたちとのかかわりを見つめ直す機会になったと思います。

研修の最後は、分掌部会です。小中一貫教育の学校区を生かした取組を推進するために、「学力向上部」「生活指導部」「体力向上部」「共同活動部」の4部会に分かれて話し合いをしました。それぞれの部会の基本となる取組内容(取組の柱)は以下の通りです。

- ① 学力向上部:・学習規律の系統化・思考スキル、学習方法の系統化・小中の互見授業・小中教員の交換授業・中学校少人数加配教員の小学校授業・小学生の中学校授業体験・教科ごとの9年間を見通した学習カリキュラムの作成
- ② 生活指導部:・生活の決まりの共有・系統化・不登校対応、対策の共通理解・道徳、総合的な学習の時間の小中連携可能な内容の検討・9年間を見通した生活指導カリキュラムの作成
- ③ 体力向上部:・小中で共有した体力向上の取組・運動会、体育大会の活用(相互見学、合同開催、中学生の練習指導など)・9年間を見通した体力向上カリキュラムの作成
- ④ 共同活動部:・合同地域清掃、ボランティア・学校行事の相互参入・小学生の部活動体験・合

同行事の開催・年間通しての合同行事計画の作成

今後も、皿倉小・尾倉中の教職員が目的を共有して、児童生徒のために小中一貫・連携教育を推進していきたいと思えます。(取組内容は随時発信します)

